別記様式

令和２年度学校評価報告書

令和３年３月31日

北海道教育委員会教育長　様

北海道標津高等学校長　印

次のとおり令和２年度の学校評価について報告します。

１　本年度の重点目標

コミュニケーション能力を身につける。	・受け取る能力（聞く力、読み取る力）を身につける。 ・伝える能力（話す力、書く力）を身につける。
思いやりの心を養う。	・自他の生命、周囲の環境を大切に思う心を養う。
挑戦する力を身につける。	・主体的に学習や特別活動などに取り組む姿勢を身につける。

２　自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	授業評価、学校評価の自己評価を通して昨年度よりも改善しているものの、決して高い評価ではない。 学習指導計画や学習課題の工夫などが課題である。	保護者、地域の評価とも満足度が昨年度よりも上昇している。
改善方策	スタディサプリ等を活用し、効果的な学習課題を工夫していく。	
生徒指導	学校評価の自己評価では、多くの項目で昨年度よりも改善されているが、教職員の共通理解の項目は低下している。 共通理解、共通実践に基づく生徒指導が課題である。	保護者・地域の評価とも満足度が昨年度よりも上昇している。 特に自主性・自立性を育成する活動が評価されている。
改善方策	教員間での共通理解を図り、教員全員で実践していく。	
進路指導	生徒保護者の希望に基づく進路決定の項目と模擬試験の計画的な実施の項目で評価が高い。	保護者・地域の評価とも満足度が昨年度よりも上昇している。 特に幅広い進路希望の実現の項目での評価が高い。
改善方策	引き続き幅広い進路に対応した、個々の生徒に適した指導を計画的に実施していく。	
信頼される学校づくり	学校説明会、体験入学、ＰＴＡ活動などを通して積極的な情報発信を行っている。 ただし、生徒増に直接結びついていないのが課題である。	保護者、地域ともに昨年度よりも改善されているものの評価は決して高くない。 さらなる情報発信の手段が必要ではないか。
改善方策	引き続き効果的な情報発信方法の工夫・実践を行う。	
公表方法	本校Ｗｅｂページへの掲載	

３　添付資料　北海道標津高等学校令和２年度学校評価アンケート（自己評価）
北海道標津高等学校令和２年度学校評価アンケート（保護者）
北海道標津高等学校令和２年度学校評価アンケート（教育振興会）
北海道標津高等学校令和２年度学校評価アンケート（生徒）